

令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月30日

部課名 商工部商工労政課

施設名	弘前市まちなか情報センター
施設の設置目的	市民及び観光旅行者に、各種地域情報並びに交流及び休息の場を提供することにより、中心市街地ににぎわいを創出し活性化を図るため。
所在地	弘前市大字土手町94番地1
指定管理者名	公益社団法人 弘前観光コンベンション協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>事業計画の基本方針を理解しながらも、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、指定事業の一部内容を変更して実施したのもあったが、事業計画に沿って可能な範囲で事業を実施している。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで計画どおり実施されている。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を積極的に実施するなど、利用者に配慮した取り組みがなされている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>来館者へ積極的にアンケート調査をお願いするなど、市民ニーズの把握とアンケート回収率の向上に努めている。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>来館者数は38,287人と、令和3年度比190%の結果となり、コロナ禍における来館者の減少から回復基調にあるものの、依然として低調に推移している。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>年度予算に基づき、執行額を確認しながら実施している。</p>
7 実地調査の結果	<p>前年度までの指摘項目については改善されており、全項目において適正であるとの評価をしている。</p>

8 成果指標の達成度

令和4年度入館者38,287人 ÷ 目標入館者数47,200人 × 100 = 達成率81.11%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	条例・運営規則等の遵守徹底、担当課の要望には十分に対応した。	
施設の管理	A	施設の不具合については即報の上で対応し、利用者ニーズの実現に注力した。	
経理の状況	B	業務推進計画に基づく支払確認をしていた。	
団体の財務状況	B	公益社団法人として適切な運営を実施した。	

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	計画に基づいた事業を実施している。職員の接遇研修やコロナ対策を積極的に実施している。	引き続き、円滑な施設の運営に努めていただく。
施設の管理	A	施設内外の環境整備や維持管理について市への報告を徹底しており、コロナ対策についても積極的に実行するなど、施設管理に努めている。	開館から相応の年数が経過しており、今後経年劣化等による修繕箇所が増える恐れがあるため、一層の注意を要する。
経理の状況	B	適正に処理されている。	引き続き適切な経理の実施に努めていただく。
団体の財務状況	B	指定管理者として適切に運営している。	引き続き適切な運営に努めていただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準□

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する